



横手城をバックにした「かまくら」の雰囲気は雪国秋田の良き風習で、伝統を今に語り継がれていて味わいがあります。

写真提供：秋田地区保護司 藤原 眞廣



第 81 号
発行所
秋田市山王7-1-2
更生保護法人
秋田県更生保護援助協会
(編集)
秋田更生保護編集委員会
(題字)
小 熊 良 悦
(印刷)
(株)アクティス

令和7年1月1日現在
保護司数 673名



新年を迎えて

秋田刑務所長 加藤 圭

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、平素から、矯正施設における被収容者の改善更生、社会復帰のため、献身的に御尽力いただいておりますことに対し、この場をお借りいたしましたして、厚く御礼申し上げます。

様々な検討及び取組を当所においても進めております。

さて、矯正におきましては、刑法等の一部を改正する法律の施行により、令和5年12月から、社会復帰支援が刑事施設の長の責務とされるとともに、刑事施設及び少年院における被害者等の心情等の聴取・伝達制度が開始されたことに加えまして、懲役刑と禁錮刑を廃止し、拘禁刑を創設することを規定する部分につきましては、いよいよ本年6月1日から施行されることになり、矯正においても大きな変革の時代を迎えることとなります。

職員が受刑者のことを深く理解する対話の技法を取り入れたり、高齢等により自立生活が困難な受刑者を対象とした矯正処遇を行う高齢福祉課程など、これまでの作業を中心とした矯正処遇から、作業と指導そして社会復帰支援を組み合わせた矯正処遇に転換していくこととなります。

拘禁刑下においては、個々の受刑者の特性に応じて作業と指導を柔軟に組み合わせた処遇を実施し、効果的な改善更生を図ることが期待されており、この拘禁刑の趣旨を踏まえ、

そのためには、更生保護事業に関わる全ての皆様の豊富な御経験に基づき活動が必要であり、引き続き、皆様方の御協力を得ながら、刑事施設における矯正処遇、社会復帰支援の充実を図って参りますので、本年も、変わらぬ御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



新年 謹賀

更生保護法人秋田県更生保護援護協会
 理事長 加賀谷 文 秋
 更生保護法人秋田至仁会
 理事長 鈴 木 寿
 秋田県更生保護女性連盟
 会 長 齊 藤 正 子
 秋田保護観察所
 所 長 正 木 勉

秋田県保護司会連合会
 会 長 新 野 建 臣
 NPO 法人秋田県就労支援事業者機構
 会 長 伊 藤 萬 治 郎
 秋田県 BBS 連盟
 会 長 菅 原 大

更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

〔研修会の開催〕

10月10日、秋田地方裁判所で役員参加のもと、研修会を開催しました。裁判所職員から、裁判員制度や裁判の仕組み等説明があり、終わりに法服を着用し、法廷内で記念撮影を行いました。



当協会運営に対しまして御寄附を戴きました皆様、また、普通会员・賛助会員の方々には、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

篤志者寄附金の御芳名

- 一金 二十万円 藤原 徳義 様
- 一金 三万円 曹洞宗保護司会連合会秋田県支部 様

告等とその他、次年度の事業の確認等を協議しました。

11月8日、あきた芸術劇場ミルハスにおいて開催されました「更生保護制度施行75周年記念第57回秋田県更生保護大会」において法人役員として受彰されました方々を御紹介します。

法務大臣表彰

齊藤 満 氏

東北地方更生保護委員会委員長表彰

和田 仁 氏

受彰された皆様、おめでとうございます。



齊藤 満氏への法務大臣表彰の伝達

秋田県保護司会連合会

★地区会長等連絡協議会開催

11月19日、秋田市「ユフォーレ」において、正木秋田保護観察所長、富樫企画調整課長御出席のもと、各地区会長・事務局長等、計29名の参加を得て開催しました。今年度開催された社明モデル地区、SST研修開催地区の報



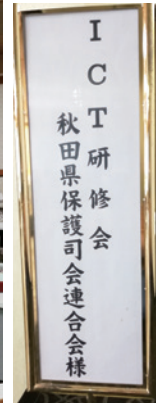
新野会長あいさつ

★保護司セミナー

12月23日、潟上市飯田川出張所において、保護司セミナーを開催しました。当日は、潟上市のロータリークラブや民生児童委員協議会の代表者、子ども育成会連絡協議会や潟上市役所、秋田中央福祉事務所の方々に御出席いただき、保護司制度等についてYouTube動画等を御覧いただきながら解説しました。また、保護司の体験談として、潟上湖東地区の保護司2名から、保護司のやりがいや仕事と両立する工夫等について語られたほか、サポセンの見学等を行いました。出席者からは、「保護司について初めて知った」「これからも声かけを続けていきたい」等の感想が聞かれました。

★ICT研修会

10月26日、アキタパークホテルにおいて各地区ICT担当者参加のもと、研修会を開催しました。ホームページを見ながら、QRコードの作成やSNS活用の仕方について各地区の対策を協議しました。



★更生保護地域推進事業を開催して

角館地区保護司会

9月28日、角館地区保護司会が令和6年度のモデル地区として「更生保護地域推進事業」を開催しました。単独でのイベント開催ではなく、仙北社会福祉協議会が主催する「仙北市ががやきフェスタ」会場内でのフリーマ

ケットおよび広報活動を行うこととしました。

保護司会員が出品物を提供しフリーマーケットを開催。ホグちゃん着ぐるみの着用や社明のぼり旗やポスター設置、また更生保護活動をPRするため、パンフレット「保護司というボランティア」、社明ウエットティッシュ、社明チラシ等を配布しました。多様な世代の来場者に対して更生保護活動に目を留めていただき、配布した資料により「保護司」の活動そのものを市民に広くPRし適任者確保にもつながる機会とすることができたと捉えております。



篤志者寄附金の御芳名

一金 二十万円

宮原 文彌 様

秋田県保護司会連合会の活動充実のために御寄附を頂戴いたしました。この場をお借りして御礼申し上げます。

★令和6年度 SST 研修開催



10/27 秋田地区東支部



9/29 秋田地区中央支部



10/20 潟上湖東地区

一筆啓上

「令和6年安全安心なまちづくり関係功労者表彰」

「内閣総理大臣賞を受賞して」更生保護ボランティアふれあいサークル

代表 千葉 恵美

令和6年10月16日首相官邸で行われた「令和6年安全安心なまちづくり関係功労者表彰」において、当サークルは内閣総理大臣表彰を拝受しました。ご推薦くださった秋田保護観察所様はじめ皆様の御支援、御指導、御協力の賜物と感謝申し上げます。表彰式では、選挙中の石破総理に代わり林官房長官から「皆様の活動は、安全で安心な地域社会の基盤を強固にするために不可欠な活動である」とのお言葉を頂きました。法務省では牧原法務大臣（当時）、保護局では総務課長との懇談会があり、当サークルの活動を紹介しました。

「孤独が再犯に繋がっている現状を、どうにかできないだろうか」と同志が集まり、保護観察所様の御支援、御協力を頂き立ち上げた当サークルは13年目を迎えます。主な活動は出所者への訪問ですが、継続するうちに冗談も言い合える間柄になります。コロナ禍においても訪問依頼は減らず、病气よりも孤独のほうに脅威であると感じました。受賞の際、多くの方から「息の長い活動を」と激励を頂きました。身に余る受賞を励みとして、会員一同「息の長い健脚」で邁進したいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。



秋田至仁会

これまで当施設には専用の相談室がなく、会議室を相談室兼面接室として兼用していましたが、令和5年度から特定補導の開始に伴い、入所者及び通所者に対して各種プログラム等を実施しているため使用頻度が急増し、会議や相談等の使用に支障を来していました。このため、昨年8月、会議室の一部を改修し、専用の相談室兼面接室を2部屋新設する工事を行いました。

これにより、会議や面接・相談を随時行うことができ、円滑な施設運営と処遇の充実強化に効果を上げています。

この施設整備事業については、令和5年10月に更生保護事業振興財団に助成金を要望し、昨年7月に助成金交付決定の通知を受けたものです。

なお、当施設の場合、土日祝日や夜間も職員が常駐していますので、保護司の方々には保護観察対象者等との面接場所として利用していただきたいと考えています。



相談室を新設しました

秋田県更生保護女性連盟

「東北地方更生保護女性会員研修会」9月10、11日、山形市にて東北六県の会員が参集し、開催されました(秋田県からは16名の参加)。

テーマ「誰一人取り残さない地域社会をつくる更生保護女性会活動を求めて」を基本に四分科会に分かれて熱心な討議をしました。

来年度は9月24、25日ホテルメトロポリタン秋田にて開催予定になっております。

「秋田県更生保護女性会員研修会」11月20日イヤタカにて秋田保護観察所長正木勉様始め4名のご来賓、会員32名が集い開催されました。(担当角館)

東北地方更生保護女性会員研修会、日本更生保護女性会員中央研修会の報告、「子育て支援地域活動モデル地区」(鹿角)、「地域との連携・協働活動推進モデル地区」(大館)がそれぞれ中間報告をしました。その後「社会を明るくする運動」再犯防止啓発DVD「フクロウ人形の秘密」を鑑賞し、午後には特殊詐欺等被害防止について秋田県警生活安全課石井孝様から最新の情報満載な講演を頂きました。更生保護女性連盟綱領を深く心に刻み、実り多い研修会でした。

秋田県就労支援事業者機構

秋田県就労支援事業者機構事務所

移転に伴うご挨拶

会長 伊藤 萬治郎

日頃から、就労支援事業に対する御

理解と御協力をいただき、御礼を申し上げます。

さて、我々を統括する全国就労支援事業者機構では、日本更生保護協会と共同で就労支援事業の実績向上に資するため、平成25年から各県に専門スタッフを配置する事業を実施しております。秋田県就労支援事業者機構においては、これまで事務所を秋田保護観察所に構え、観察所主体で活動して参りました。今年度、秋田保護観察所を通して専門スタッフ配置における助成金申請したところ、昨年10月から助成金を受ける運びとなりました。これまでの当機構の活動が評価されたと同時に、今後の更なる活動が期待されたものと受け止め、感謝とともに「一層の活動に努めなければならぬ」と決意したところです。

当機構では、就労支援員として、保護司でもある船山齊氏を配置し、更生保護法人秋田至仁会内に事務所を移転し、就労支援事業を展開する運びとなりました。

関係機関の皆様におかれましては、今後とも当機構の事業運営に格別の御尽力をお願いし、御挨拶とさせていただきます。



伊藤会長と船山支援員

秋田県BBS連盟

★第74回社会を明るくする運動月間社会を明るくする運動強調月間の開始に当たり、幕開行事として7月1日に秋田駅で関係機関や団体とともに学生会員が広報活動を行いました。

★第64回東北地方BBS大会及び令和6年度東北管内地方別BBS会員研修会

9月7、8日に、福島県大玉村で開催され、東北管内のBBS会員ほか関係機関約100名が参集。竹中副会長ほか4名が出席し、「多様な意見を尊重し、みんなが納得できる答えを導き出そう」をテーマとした研究協議を行いました。

★更生保護制度施行75周年記念・第57回秋田県更生保護大会

11月8日、あきた芸術劇場ミルハスで開催された更生保護制度施行75周年記念・第57回秋田県更生保護大会において大会役員を務めました。

★令和6年度東北ブロック再犯防止シンポジウム

12月17日、秋田県庁第二庁舎で行われた令和6年度東北ブロック再犯防止シンポジウムを後援しました。

★聖園天使園学習ボランティア

秋田地区会(ノースアジア大学生)が中心となり、秋田市保戸野にある児童養護施設・聖園天使園で、年齢、性別で分かれているルームごとに子どもたちの学習支援ボランティアを行いました。

新たな年が、災害のない穏やかな年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

秋田保護観察所

●保護司の安全確保に関する対策について

本誌第80号にてお伝えしました滋賀県大津市における事案を受け、全国の保護観察所において保護司の皆様へ聞き取りや面接場所に関する調査を行ったところ、①保護司全体の約2割が保護司活動に不安を示しておられること、②事件を担当する保護司の約7割が自宅や保護観察対象者の自宅で面接していること、③更生保護サポートセンターでの面接は、地理的条件や開所時間の制約から約2割にとどまっていること等が分かりました。

こうした現状を受け、保護観察所では、保護司の安全確保対策として、①担当保護司の複数指名の積極的運用、②保護観察官による直接処遇などの直接関与の強化、③自宅以外の面接場所の確保の推進、④保護司家族への対応の充実、⑤アセスメントの充実化や保護観察全部猶予者の保護観察強化策の試行などを実施しています。

特に③については、公的施設を面接場所等としても利用できるよう各市町村に協力依頼を行っているほか、更生保護施設秋田至仁会から面接室の利用について協力をいただいているところでもあります。

引き続き、保護司の皆様が安心して保護観察対象者との面接を含めた保護司活動を行うことができるよう環境整備に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

●「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」報告書について

同検討会は、令和5年3月に決定された「第二次再犯防止推進計画」を受け、同年5月から14回にわたり開催され、昨年10月3日にその最終報告がまとめられました。同報告書には、例えば公募の試行や任期の見直し、デジタル技術の活用等延べ78の「今後講じていく施策等」が盛り込まれています。なお、同報告書を受け、新任委嘱時の上限年齢(原則66歳以下)が撤廃されたほか、現在、保護司会の勘定科目の整理・統合に向けた準備も進められているところでもあります。引き続き、講じていく施策の着実な実行に向けて、御理解・御協力をお願いいたします。

(参照:法務省HP)



●保護司専用ホームページ「H@」(はあと)の利用について

本年4月から報告書の作成はH@又は手書きとなります。これを機にまだH@に御登録でない方は是非登録をお願いいたします。なお、より使いやすくなるよう、現在大規模改修を行っています。改修内容についてはおつて御連絡いたします。また、当庁が実施した本年度の第二期研修(夜間研修)の様子はH@でも御覧いただけます。自地区の研修に参加できなかった方や繰り返し受講したい場合は、是非視聴してみてください。

保護司専用ホームページ「H@」(はあと)への登録はお済みですか?
(パソコンで報告書を作成している方は要注意!)

- ✓ 今年4月から、保護観察や生活環境調整の報告書の提出方法が、「H@ (はあと)」または「手書き」のどちらかになります!
- ✓ 利用するためには、アカウント発行のための登録が必要です。まずは所属する保護司会事務局または保護観察所にお尋ねください!

～利用者から実際に聞かれた「H@」利用のメリット～

- 情報流出の心配がない
- 郵便代がかからない
- インターネットに接続したまま報告書を作成できる(いちいち接続を外さなくてよい)
- 先月の内容とほぼ同様な場合は、先月の情報をコピーできる
- 複数担当の場合、双方で入力や修正ができる
- スマホでもできる などなど



湯沢地区サポートセンターでのオンライン視聴

●令和6年度東北ブロック再犯防止シンポジウムの開催について

令和6年12月17日に秋田県庁第二庁舎大会議室において、標記シンポジウムが開催されました。同シンポジウムは、広く国民の間に再犯防止施策についての関心と協力が得られるよう毎年開催されているもので、本年度は秋田県において、「地域における息の

長い「支援の実現」をテーマに多くの来場者とオンライン視聴者の参加の下開催されました。

シンポジウムでは、再非行防止サポートセンター愛知の高坂朝人理事長から「自分と未来は変えられる」と題して基調講演が行われ、非行少年だった自身の過去を振り返りながら、更生のためには周囲の支えや人とのつながりが必要であること、またそうした支援が施設内と社会内において、さらに家族にも必要であることなどが語られました。続いて行われたパネルディスカッションでは、秋田大学教育学部化学部北島正人教授をコーディネーターとして、高坂理事長、あきた結いネット坂下美渉理事長、秋田県地域生活定着支援センター豊澤公栄センター長、当庁富樫企画調整課長をパネリストとして、ネットワークを活用したあるべき支援について、それぞれの活動を踏まえながら活発な意見が交わされました。

なお、シンポジウムの模様は後日アーカイブでも配信する予定です。



シンポジウムの模様

秋田県更生保護大会特集

令和6年11月8日(金)
あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

令和6年11月8日、秋田市あきた芸術劇場ミルハス中ホールにおいて、東北地方更生保護委員会委員長ほか多数のご来賓、役員等のご臨席のもと、秋田県内の更生保護関係者約800人の参加を得て、更生保護制度施行75周年記念第57回秋田県更生保護大会が厳粛かつ盛大に開催されました。

はじめに“社会を明るくする運動”作文コンテストの秋田県内応募の中から優秀賞に選ばれた作文の朗読と入賞者の表彰を行いました。

なお、今年度は小学生から92作品、中学生から482作品の応募があり、優秀作品については全国推薦をいたしました。

次に式典前の講演では、特定非営利活動法人仙台ダルク代表飯室勉氏から“立ち直りと回復の真実”と題しましてご講演いただき、長年の活動に携られたご経験から大変貴重なお話を伺いました。

その後、開催の辞が告げられ、黙祷・国歌斉唱を行い、主催者を代表して大会会長の秋田県保護司会連合会新野建臣会長式辞に続いて、秋田保護観察所

正木勉所長からご挨拶がありました。

次に、秋田県内の更生保護事業にご功績のあった方々の顕彰を行いました。このうち、今年度は、現役世代が仕事をこなしながら保護司活動に従事するための環境整備を図ることを目的として、保護司を雇用している事業主に対する表彰が新たに設けられ、東北地方更生保護委員会委員長から(有)秋田保険企画代表取締役田口裕也氏に対して表彰がされました。その後、受彰者を代表して本荘地区保護司会佐藤道幸保護司から謝辞に続き、ご来賓を代表して秋田県健康福祉部高橋一也部長、秋田地方検察庁佐藤裕亮次席検事からご祝辞を頂きました。続いて、大会役員金山智紀保護司から大会宣言案の発表があり、拍手をもって賛同、宣言されました。

なお、当日は秋田地区保護司会、秋田地区更生保護女性会の皆様にもお手伝いいただきまして厚くお礼申し上げます。

大会当日の写真は秋田県保護司会連合会のフェイスブックに掲載してあります。



飯室勉氏の講演



新野大会会長式辞



ホール内の参加者

更生保護制度施行75周年記念 第57回



杉沢千恵子氏への法務大臣感謝状



法務大臣表彰の皆様



ホゴちゃんサラちゃんお出迎え



法務大臣表彰の皆様



佐藤道幸保護司からの謝辞



齊藤県更女会長からの伝達



瀧澤委員長から田口裕也氏へ伝達

お知らせ

第58回秋田県更生保護大会

令和7年 **11月21日(金)**
あきた芸術劇場「ミルハス・中ホール」で
開催予定です。

秋田県の更生保護

<https://akita-kouseihogo.com>



ホームページ
「秋田県の更生保護」
のQRコードです。

秋田県保護司会連合会

<https://www.facebook.com/akitakenhogosikai/>



フェイスブックの
QRコードです。

10月2日、東京国際フォーラムで「更生保護制度施行75周年記念全国更生保護大会」が開催され、秋田県からも受表彰者が参加しました。

京国際フォーラムにて開催され、全国から約千百人、秋田県からも15人が参加しました。第一部「大会式典は、牧原法務大臣(当時)他、多数の来賓の御臨席の下、更生保護活動に功績のあった方々への表彰が荘厳な雰囲気の中行われました。第二部の記念講演は、トヨタ自動車(株)副会長早川茂氏による「豊田章男の挑戦ートヨタらしさを取り戻す闘いー」と題した講演でした。その中で「トヨタの創業精神と更生保護活動とは軌を一にする。75年にも渡る活動の継承者である皆様と心を合わせこの国を支え未来を考えていこうではないか」との言葉があり深く感銘を受けました。日常とは違った本大会に参加させて頂いた事は、活動について考えさせられる良い機会となりました。



法務大臣表彰
一田 アヤ子
更生保護制度施行75周年記念全国大会が東
二田 アヤ子
渥湖東地区保護司

栄誉に輝く
叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章

(令和6年11月3日)

令和6年秋の叙勲及び褒章を受けられました管内の更生保護関係者の方々は、次のとおりです。

永年の御功労・御功績によりめでたく受章されました皆様は心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。

(敬称略)

叙勲

瑞宝双光章

(更生保護功労)



武藤 直哉
(湯沢保護区)

褒章

藍綬褒章

(更生保護功績)



由利 均
(男鹿保護区)

更生保護以外の功労・功績

黄綬褒章 (業務精励)

清水 重輝

(更生保護法人秋田県更生保護援護協会理事)

叙位

従六位 (令和6年11月15日付)

鎌田 幸藏 (元北秋田地区保護司)

保護司の異動

任期満了 (令和6年12月31日付)

次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を祈念します。(敬称略)

- 田口 久子 (秋田(東))
- 熊谷 礼子 (秋田(東))
- 近江 友春 (秋田(中央))
- 河内 信雄 (秋田(中央))
- 沼田 容子 (秋田(中央))
- 千田 幸一 (潟上湖東)
- 畠山 美喜雄 (潟上湖東)
- 伊藤 邦雄 (能代)
- 金子 孝藏 (能代)
- 五十嵐 孝子 (大館)
- 兜森 和夫 (大館)
- 津谷 聡 (北秋田)
- 奈良 光英 (鹿角)
- 武石 量之 (鹿角)
- 菅原 且峰 (本荘)
- 小池 典弥 (本荘)
- 大和谷 道子 (横手)
- 平良木 保 (横手)
- 柴田 克朗 (横手)
- 佐々木 恵子 (横手)
- 齊藤 茂美 (湯沢)
- 阿部 清次 (湯沢)

依願解囃

戸部 恒夫 (大曲)

鈴木 一二 (秋田保護区)

柴田 美喜子 (北秋田保護区)

佐藤 康直 (秋田保護区)

倉田 正吾 (大曲保護区)

新任 (令和7年1月1日付)

次の方々が新たに委嘱されました。今後の御活躍を期待します。(敬称略)

- 平澤 清美 (秋田(中央))
- 齋藤 政子 (秋田(中央))
- 高橋 義弘 (男鹿)
- 加賀 純子 (能代)
- 松田 淳子 (北秋田)
- 鎌田 孝司 (横手)
- 中村 智信 (横手)
- 西村 光喜 (湯沢)
- 佐藤 司 (湯沢)
- 阿部 透 (湯沢)
- 藤田 健志 (湯沢)
- 三輪 宣比古 (湯沢)
- 鈴木 和基 (湯沢)
- 小野地 洋 (大曲)
- 藤澤 克己 (大曲)
- 田口 陽三 (大曲)
- 芳賀 昭範 (大曲)
- 安孫子 賢太 (大曲)
- 森沢 宜彰 (大曲)

★退任保護司感謝状伝達式及び座談会開催 (12月25日)



編集後記

明けましておめでとございます。今年の手支は、已年でありませぬ。不吉なもの、執念深いとして嫌われがちですが神の使いとして信じられることも多いようです。

昨年「闇バイト」に関わる凶悪な事件や特殊詐欺の高額な被害の発生が相次ぎ、暗い世情に心を痛めております。

更生保護の現場においては、人とのつながりを大切にして皆が安全で安心して暮らせる社会になるよう、まっすぐに、ひとつまみの微力ですが保護活動に携わって行きたいと思っております。

長谷部次子

編集委員

加賀谷文秋 (編集委員長)

金山 智紀 明石 浩延

伊藤 妙子 長谷部次子

富樫 伸介 柿崎 敦

菊地 皆美